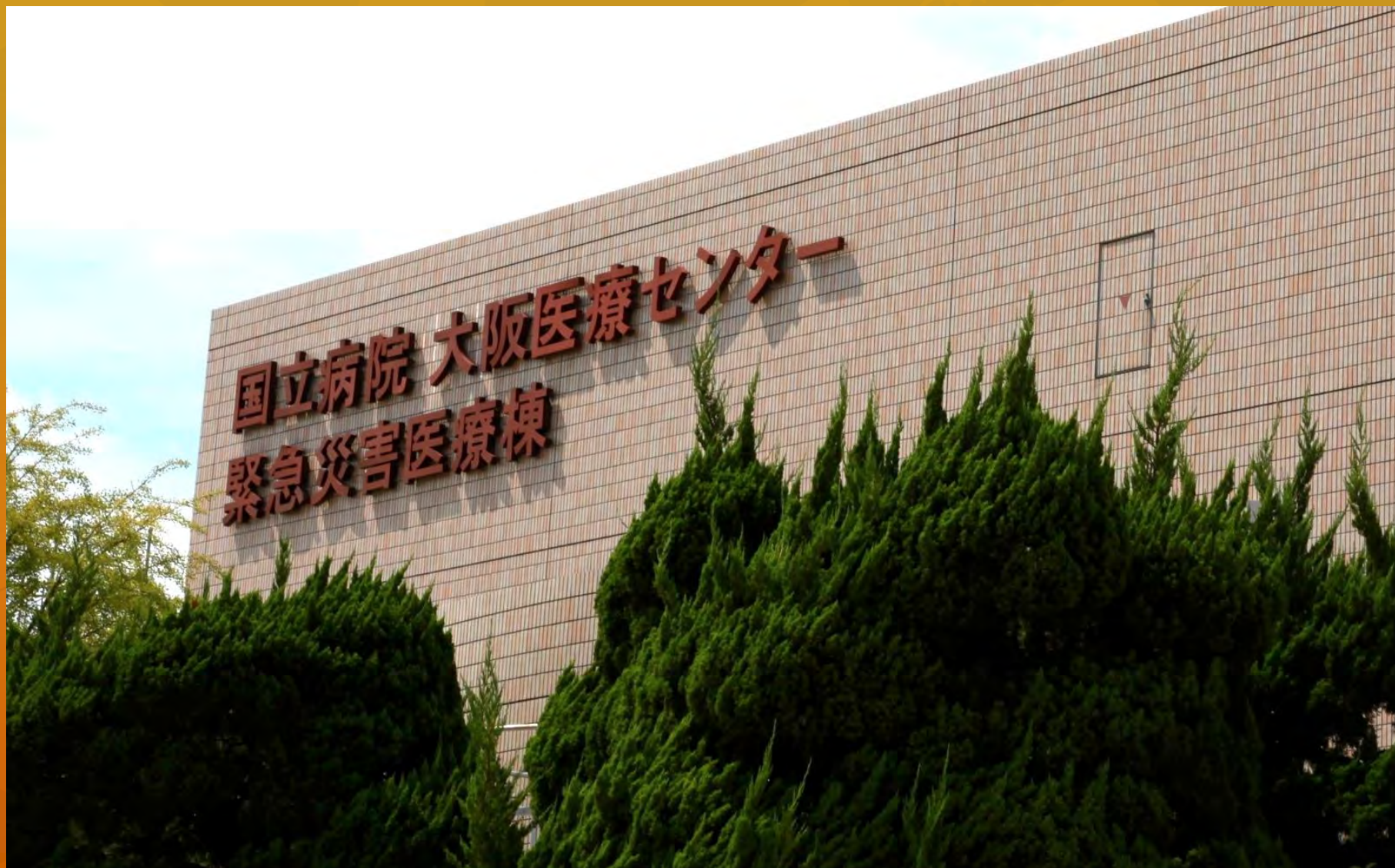


厚生労働省医政局災害医療対策室
DMAT事務局の
大阪医療センター開設にあたって

国立病院機構大阪医療センター
定光大海

緊急災害医療棟（上町筋より）



原 医政局長 (DMAT事務局開設式)



高里災害医療センター 一院長 (DMAT事務局開設式)



DMAT事務局内



出席者名簿

原 医政局長	岡田 機構本部医療部 病院支援部長	高里 災害医療 センター院長	嶋津 大阪大学 救命センター長
吉岡 急性期総合 院長	伊藤 大阪府健康 医療部長代理	寺川 大阪市 健康局長代理	梶尾 医政局 指導課長
田中 医政局室長	中山 兵庫県災害医療 センター長	藤見 急性期総合 救急部長	永井 大阪府 医療対策課長
蔦田 大阪市 健康施策課長	長谷川 医政局 課長補佐	梶野 医政局 課長補佐	生駒 医政局災害時医師等派 遣 調整専門官
瀬戸 近畿ブロック事務所統括 部長	笹橋 京都医療センター院長代 理	竹内 災害医療セン ター管理課長	



大阪医療センター
災害対策部
DMAT災害医療班
“チーム SAIGAI”



Access



地下鉄

谷町線・中央線「谷町4丁目」駅下車、①番出口すぐ

J R

大阪環状線「森ノ宮」駅下車、地下鉄中央線乗り換え、「谷町4丁目」駅下車①番出口すぐ

バス

大阪市バス「国立病院大阪医療センター」下車すぐ

DMAT “チーム SAIGAI”

独立行政法人 大阪医療センター内
国立病院機構

〒540-0006 大阪府中央区法円坂2丁目1番14号

TEL 06-6942-1331 (代)

<http://www.onh.go.jp>

東日本大震災での活動



活動場所 → いわて花巻空港SCU
(伊丹空港から自衛隊輸送機C-130Hにていわて花巻空港へ)

活動期間 → 3月12~3月14日

チーム → 救急医1名、看護師2名、業務調整員2名(薬剤師・診療放射線技師)

主な活動内容 → いわて花巻空港SCUにて治療班及びSCU本部要員として活動

いわて花巻空港SCUでの活動



- SCU治療班の活動としては、岩手県沿岸部からDrヘリなどで域内搬送されてくる被災患者の医療支援を行う。
- 急性期の外傷患者は少なく、高齢者の排水誤嚥や打撲などが多かったが、透折患者も搬送されており、病院選定も難渋した。
- 当院DMATが医療支援した8名の被災患者は、広域医療搬送もしくは域内搬送(花巻市内)で医療施設に搬送された。



東日本大震災 初期医療班

東日本大震災では、国立病院機構仙台医療センターの救急初療室の支援と同時に、周辺地区の救護所・避難所の診療も行いました。

- 第1班：H23.3.14~17(医師1名、看護師2名、薬剤師1名)
- 第2班：H23.3.17~20(医師1名、看護師2名、事務2名)
- 第3班：H23.3.20~23(医師2名、看護師2名、薬剤師1名、事務1名)



近畿ブロック・大阪府内災害拠点病院のDMATも参加していただき、毎年600人規模の災害訓練を行います。

災害医療棟講堂には約300人の被災者を受容することが可能です。

一旦収容した被災者を、参集したDMATにより域内・広域搬送する訓練も行っています。

院内 災害訓練



当センターは、大阪府の2次被災医療機関であり、災害医療棟地下1Fには緊急被災医療のための設備があります。

災害訓練では、被災した重症外傷患者を想定し、養生・サーベイ・除染・救命・創傷処置の訓練を行っています。

近隣病院の放射線技師の方々も災害訓練に参加していただき、災害に備え、連携を強化しております。

災害